

屋久島国立公園だより

2006.10.1

環境省屋久島自然保護官事務所（屋久島世界遺産センター内）

〒891-4311 屋久町安房前岳 2739-343

TEL:46-2992 FAX:46-2977 E-mail: RO-YAKUSHIMA@env.go.jp

生態系調査の実施について

（屋久島世界遺産地域における生態系の動態把握と保全管理手法に関する調査）

はじめに

屋久島世界遺産地域の生態系の核心部ともいえる奥岳地域には、原始的な自然が保全されています。これらは不変ではなく、台風や野生動物の影響などにより、大きく変化しています。

しかし、この生態系の構造や変化などを定量的（連続する数値の変化に着目してとらえること）に把握し、変化の原因を解明するということは、必ずしも十分に行われていません。

そこで今後3年間かけて、屋久島の生態系の動きや変化を定量的・継続的に把握するためのシステムを構築し、世界遺産地域の自然生態系の変化に影響を与える原因の解明をするとともに、保全・管理手法の策定を行います。

内容

この調査は、気象、土壌、植生、動物の4項目について行います。

気象観測調査：標高や斜面方位毎の気候環境の違いを3次元的に明らかにする。気候環境とは気温、湿度、日射、風向・風速、気圧など。

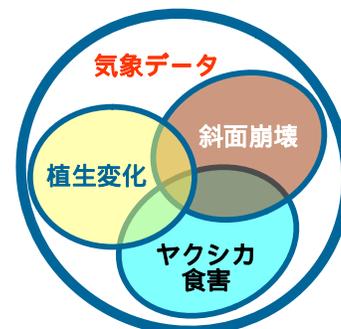
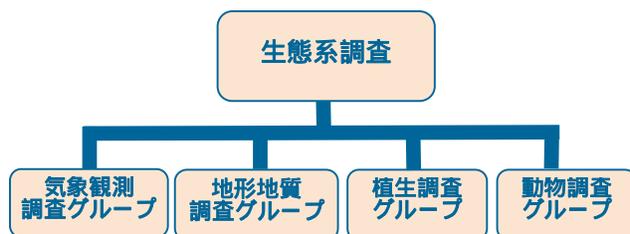
地形地質調査：「降雨と斜面崩壊発生の関係」、「屋久島における特性」を解明し、生態系に与えるインパクトの大きさを明らかにする。

植生調査：植生生態系の「基本構造とその変化」、「他の要因との関係やその影響」等を統合的に明らかにする。

動物調査：「ヤクシカやヤクシマザル等の動態」、「地表徘徊制昆虫の昆虫相」などについて明らかにする。

これら4項目について、「データの重ね合わせによる相互要因解析とまとめ」、「保全・管理手法への提言」、「将来的な課題の整理」等を行います。

調査実施体制



相互要因解析のイメージ

「自然に親しむ集い」

森林軌道を歩く集いのご案内

平成18年11月19日(日)

共催：九州地方環境事務所、(財)屋久島環境文化財団、上屋久町、屋久町



今回は、安房苗畑から荒川登山口までの森林軌道を散策しながら、周辺の植物の観察や森林軌道の歴史を学びます。講師は、屋久島野生植物研究所主宰 大山 勇作 さんです。

1. 実施場所 屋久町安房(旧苗畑)から荒川登山口 間
2. 集合場所 屋久島世界遺産センター前 8時30分
3. 解散場所 屋久島世界遺産センター前 15時30分
4. 応募方法
往復はがきに住所・氏名・自宅の電話番号をご記入の上、屋久島自然保護官事務所宛に郵送して下さい(メール、FAX可)。
なお、締め切りは11月16日(木)です。
5. 募集人数
15名、応募多数の場合は抽選とします。
参加資格は、中学生以上とします。(ただし、保護者同伴の下であれば小学生も可)
6. 参加料(保険料)
1人当たり300円。なお、ご家族で参加される場合は、2人目から1人につき、100円増しとなります。
7. 服装・持ち物など
活動しやすい服装、運動靴、帽子、合羽、タオル、弁当、水筒、筆記用具等。
8. その他
悪天候等のために中止にする場合は、事前に電話連絡いたします。

「屋久島国立公園だより」は、上屋久町・屋久町のご協力をいただき、配布されています。

